

日本オーラル・ヒストリー学会(JOHA) シンポジウムのお知らせ

語りを一冊に編みあげるまで

—野入直美(2021)『沖縄—奄美の境界変動と人の移動』を手掛かりに—

人びとのオーラルヒストリー／ライフストーリーを聞きとり、それを論文や聞書や本にするという実践は、いまやJOHAをこえて広く共有された研究方法となっています。

語りを論文化する場合もですが、一冊の本に仕上げるまでの過程も多くの選択と工夫が必要です。数名の語りか一人の語りか、語りと出来事の背景と解釈をどう組み合わせるか、ストーリーの展開を重視するかトピック事の語りに編集するか。それに何よりも、聞きとりは語り手の重要性は言うに及ばず編集者の役割も大きいものがあります。

そこで、野入直美会員の最近作『沖縄—奄美の境界変動と人の移動』（みずき書林、2021年）を手掛かりに、筆者の野入会員、語り手の重田辰弥氏、編集者の岡田林太郎氏に登壇いただき、本書完成までのプロセスと想いを語っていただきます。

コメンテータに『生活史宣言—ライフヒストリーの社会学』（2012年）ほか数々の著書や編著書をものしてきた有末賢会員と、『ヒロシマ・パラドクス』（2018年）で注目されている根本雅也会員をむかえ、「語りから一冊に編みあげるまで」を論じます。

会員の皆様はもちろん、会員外の皆様方のご参加もお待ちしております。

記

(1)日時：2022年6月25日午前10時～12時半（最長13時）

(2)開催方式：ハイブリッド方式、会場：上智大学2号館6階630a会議室

(3)プログラム（午前10時～12時半）

- ・「趣旨説明」蘭 信三（大和大学）
- ・「語りを紡ぐ」野入直美（琉球大学）
- ・「人生を語る」重田辰弥（関東沖縄経営者協会・顧問）
- ・「語りを生かす」岡田林太郎（みずき書林）
- ・「コメント」有末 賢（亜細亜大学）、根本雅也（松山大学）
- ・「閉会」安岡健一（大阪大学）

参加には事前登録（6月24日まで）が必要。登録後に参加関連の確認メールが届きます。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUpf-ppj4iHdc1c5sLXuQJ0hDz8o2ZDttb>

問い合わせ先：

JOHA 研究活動委員 蘭 信三(大和大学)：araragi.shinzo@yamato-u.ac.jp